

PowerNet

200

High Performance
Digital Video Monitoring System

Manual Version 2.0

株式会社スリーディー
平成 16 年 10 月 20 日

目 次

概要	2
1. PowerNet200 起動方法	3
2. PowerNet200 画面説明	3
3. 映像の閲覧と再生	4
1) 閲覧	4
2) デジタルレコーダーの状態表示	4
3) ファイル検索・再生とダウンロード	5
4) ローカルファイルの再生	7
4. カメラ操作	7
5. その他 静止・保存・印刷	8
6. 設定	9
1) 環境設定	9
2) 接続設定	9
3) サーバ	9
4) 割付	10
5) イベント	10
6) バージョン	11
7. デジタルレコーダーの遠隔設定	11
1) チャンネル/センサー	12
2) スケジュール/録画率	13
3) 録画	13
4) イベント設定	14
5) PAN/TILT	15
6) 設定情報	15
7) About	16

概 要

スリーディーデジタルレコーダーTRD-8000/9000 シリーズに遠隔から操作するためのソフトウェアです。デジタルレコーダーに接続されているカメラの映像を閲覧、録画されている過去の映像ファイルを検索し、再生、ダウンロード等が行えます。また、スリーディーコントロールスピードドームカメラ TPD-300 シリーズの遠隔操作も出来ます。

機能説明

以下の操作を行います。

1) 遠隔閲覧

32 台までのカメラを登録できます。各カメラ映像を 1 画面表示/4 画面表示/8 画面表示/16 画面表示でモニタリング可能です。

2) 過去ファイルの検索再生

デジタルレコーダーに録画されている各カメラ映像のファイルを遠隔で検索・再生が可能です。

3) 過去ファイルのダウンロード

デジタルレコーダーに録画されている各カメラ映像のファイルをダウンロード可能です。

4) カメラコントロール

デジタルレコーダーに接続されている可動式カメラ、スリーディースピードドームカメラ TPD-300 シリーズを遠隔で操作できます。

5) 画像の静止画保存と印刷

カメラのライブ映像を静止することで映像を閲覧しているコンピュータに静止画保存、コンピュータに接続されているプリンターで印刷できます。

1. PowerNet200 (パワーネット 200) の起動



PowerNet200



① デスクトップ上のアイコンをクリックします。

(プログラムの場所: C ドライブ > PowerNet200 フォルダ > PNClient.exe)

② 自動接続設定がされている場合、瞬時にカメラ映像が表示されます。

③ 自動接続設定がされていない場合、電話のアイコンをクリックすると映像が表示されます。

④ 接続を切断する場合、左のアイコンをクリックします。

⑤ 終了ボタンをクリックすると、アプリケーションは終了します。

2. PowerNet200 画面説明



- ① 再生・一時停止・停止・スロー再生ボタン
- ② 1画面表示/4画面表示/8画面表示/16画面表示ボタン
- ③ カメラコントロール/静止/保存/印刷ボタン
- ④ デジタルレコーダー状態表示インジケータ
- ⑤ 設定ボタン
- ⑥ 接続・切断ボタン
- ⑦ 終了ボタン

3. 映像の閲覧と再生

1) 映像の閲覧



1/4/8/16 画面表示ボタン

紫色は現在表示されている画面状態を示します。

- ① ボタンをクリックすると、1～32 台分のカメラボタンが表示されます。
- ② 表示したいカメラ番号ボタンをクリックします。
- ③ 1/4/8/16 カメラで切り替わります。
- ④ 紫色の番号はその画面が選択されていることを示します。

2) デジタルレコーダーの状態表示



任意のカメラ映像をクリックして選択すると、そのカメラが接続されているデジタルレコーダーの状態が表示されます。

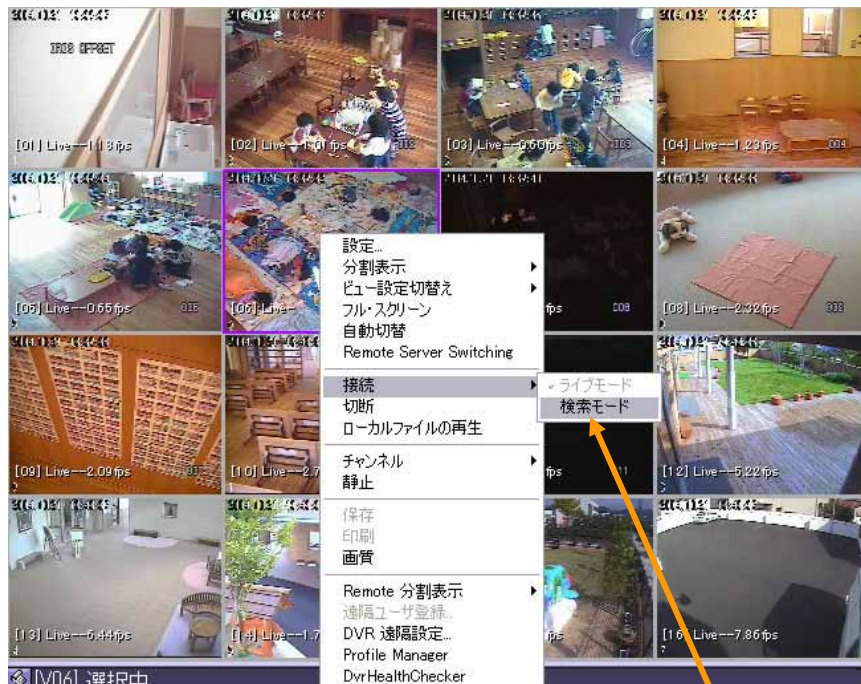
R 点灯時: カメラ映像が録画されています。

M 点灯時: 動き感知が作動中です。

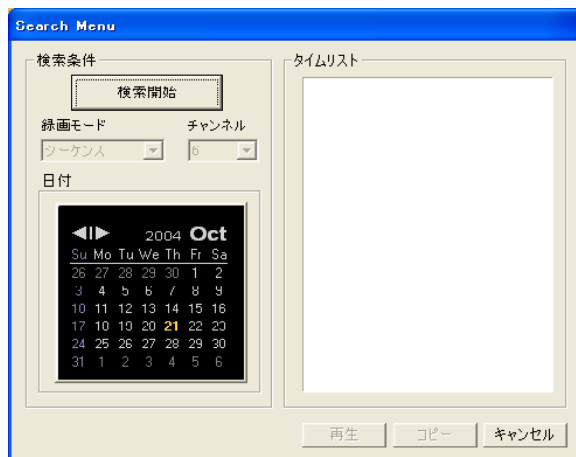
V 点灯時: 映像信号が切断されています。

S 点灯時: センサー検地が作動中です。

3) 遠隔でのファイル検索・再生とダウンロード

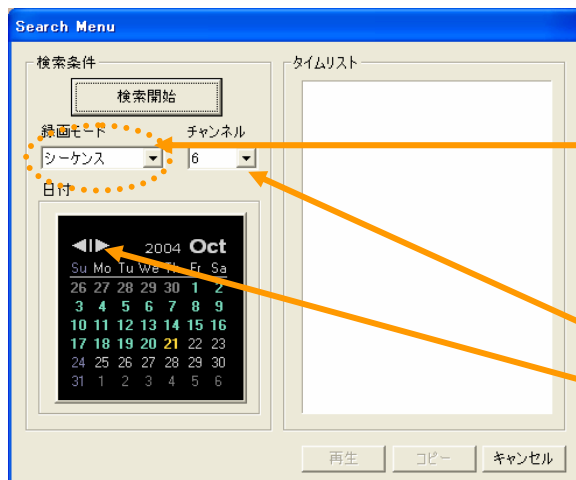


① 録画されている映像を検索したいカメラ映像の上で右クリックするとメニューが表示されます。



② 「接続」の「検索モード」をクリックすると、左図が表示されます。

③ 「検索開始」をクリックします。



④ 録画されているファイルがある場合、該当する日付に色がつきます。

● 検索する録画モードを指定できます。

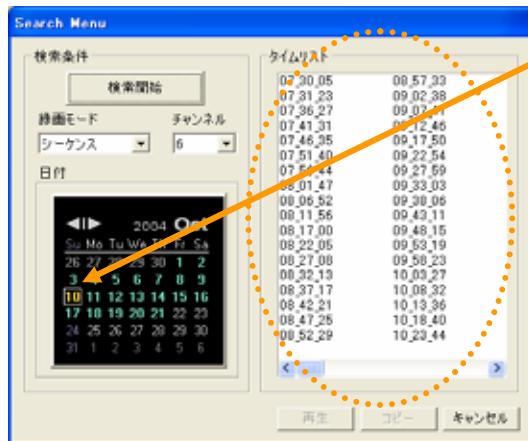
シーケンス: 通常録画ファイルの検索

動き感知: 動き感知された録画ファイルの検索

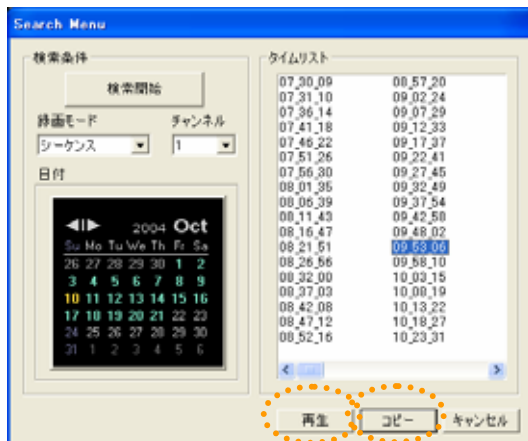
センサー: センサーによる録画ファイルの検索

● 検索するチャンネルを指定できます。

● 月の移動は、◀ ▶ をクリックします。



⑤任意の日付をクリックすると、その日の録画ファイルが、タイムリストに表示されます。

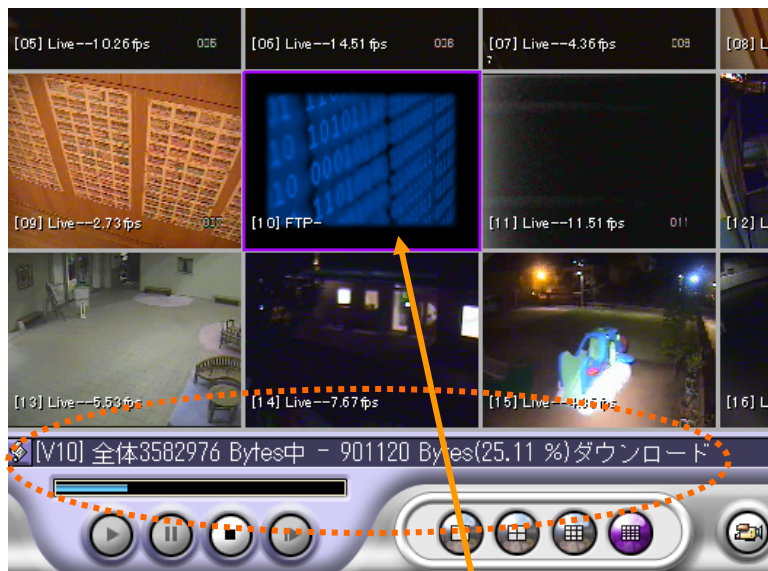


⑥再生したい時間のファイルをクリックすると、「再生」「コピー」が有効になります。

⑦「再生」をクリックすると、選択した画面上に録画ファイルが再生されます。

※カメラ映像左下に「Search」と表示されます。

⑧録画ファイルをローカル PC にダウンロードする場合は「コピー」をクリックします。



⑨ダウンロード状態がステータスバーに表示されます。

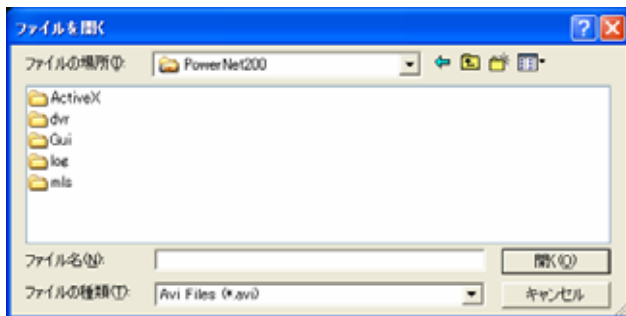
※初期設定では、録画ファイルは C ドライブの「Powernet200」フォルダの中に保存されます。
「設定」の項目で説明します。

※検索・再生をした後は、必ず、その画面上で再度右クリックしてサブメニューを表示し、
「ライブモード」をクリックして元にライブ映像を表示してください。
「ライブモード」に戻さないと、上記のような青い画面のままになります。

4) ローカルファイルの再生



① (3) でダウンロードした録画ファイルを再生する場合は、任意の画面上で右クリックして「ローカルファイルの再生」をクリックします。



② 任意のファイルを選択して、「開く」をクリックすると、再生がはじまります。

※検索・再生をした後は、必ず、その画面上で再度右クリックし、サブメニューを表示し、「ライブモード」に戻してください。「ライブモード」に戻さないと、青い画面のままになります。

4. カメラ操作

① 画面上でコントロールスピードドームカメラが接続されている画面を選択します。

選択したチャンネルの枠が紫色になります。

② カメラコントロールボタンをクリックすると、PTZ 操作パネルが表示されます。



※スピードドームカメラの映像を選択してから、操作を行ってください。

※選択したチャンネルにスピードドームカメラが接続されていない場合、ステータスバーに、「チャンネルを選択してください」と表示されます。

■PTZ 操作



- ①パン (水平移動) 操作: 右左のボタンをクリックしてカメラを移動させます。
- ②チルト (垂直) 操作: 上下のボタンをクリックしてカメラを移動させます。
- ③「ZOOM」ズーム: ◀ ▶ ボタンをクリックしてズームしてください。
- ④「FOCUS」フォーカスと「IRIS」アイリス: スピードドームカメラはオートフォーカス、オートアイリスなので、◀ ▶ ボタンをクリックしないでください。
- ⑤「AUTO」ボタンをクリックすると、オートパン (自動水平移動) が作動します。
- ⑥オートパンの範囲を設定するには・・・
 - ・ 「P1」をクリックして、水平移動開始地点を設定します。
 - ・ 「P2」をクリックして、水平移動最終地点を設定します。
 - ・ 「AUTO」をクリックすると、設定した「P1」「P2」間で自動水平移動を繰り返します。

⑦オートパンを解除するには、「AUTO」ボタンを再度クリックすると色が消えます。

※カメラがオートパンで作動中に上下左右の操作ボタンでカメラを動かすとオートパンは停止します。

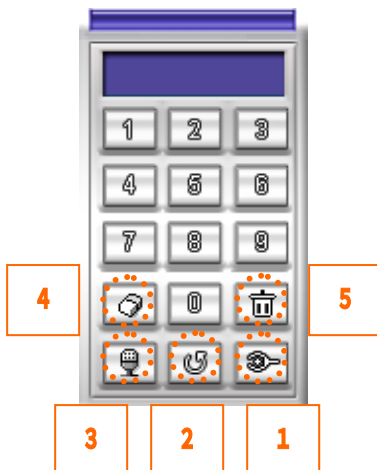
オートパンを再開するには、再度「AUTO」をクリックしてください。

⑧プリセット (カメラ位置事前設定): 上下左右のボタン中央の青いボタンをクリックすると、PTZ パネルの上部に、プリセット登録パネルが表示されます。

プリセット登録

左のプリセットパネルの各ボタンについて説明します。

- ①カメラの位置を決めたら、1～99 までの任意の数字をクリックします。
- ② **1** 設定: 上記の数字でカメラ位置を登録します。
- ③上記操作を繰り返します。
- ④ **2** ツアー: 登録したプリセット位置のカメラ映像を順番に表示します。
- ⑤ **3** コール: 登録しているプリセットを呼び出します。
- ⑥ **4** 削除: プリセットを削除します。
- ⑦ **5** 全削除: 登録している全プリセットを削除します。
- ⑧プリセットパネルを閉じるには上下左右ボタンの中央ボタンをクリックします。



5. その他



静止ボタン: 選択したチャンネルのライブ映像を一時停止するボタンです。
画像の保存や印刷の際に使います。



保存ボタン: 映像を一時停止した際に、画像を静止画として保存します。
画像を静止していない場合は、ボタンは無効です。



印刷ボタン: 映像を一時停止した際に、画像を印刷します。
画像を静止していない場合は、ボタンは無効です。

6. 設定



設定ボタン：設定用画面が開きます。

1) 環境設定

環境設定 | 接続設定 | サーバ | 割付 | イベント | バージョン

起動オプション
☐ プログラム開始と同時に解像度を変更する
☒ プログラム開始と同時にチャンネルを接続する

フォルダ
 ムービーファイル保存先 C:\PowerNet200 参照
 静止画保存先 C:\PowerNet200 参照
 ログファイル保存先 C:\PowerNet200 参照

ファイルコピー速度
 高速 低速

OK Cancel

①起動オプション

起動時に画面表示をフルスクリーンで行う場合は、チェックを入れます。

起動時に自動的にデジタルレコーダーにアクセスし、カメラ映像を表示する場合は、チェックを入れます。

②フォルダ 各ファイルの保存先を指定します。

③ファイルコピー速度

ライブ映像を見ている際のファイルコピー速度を設定します。初期設定は高速です。

高速：ファイルコピーを優先

低速：ライブ映像表示を優先

2) 接続設定

環境設定 | 接続設定 | サーバ | 割付 | イベント | バージョン

接続オプション
☒ サーバ割付から接続が切断されると自動的にコトライ

イベント接続
 次のイベント時の切替時間[s] 5 : 最初のイベントを保持するときは"15"に設定

OK Cancel

①接続オプション

デジタルレコーダーから接続が切断された場合、自動で再接続する場合は、チェックを入れます。

②イベント接続

イベント表示チャンネル (割付タブ参照) の設定で、EV チャンネルに他のイベントがあっても表示しないようにする時間 (秒) です。

1～14 秒まで設定可能。

15 に設定すると常に表示し続けます。

3) サーバ

環境設定 | 接続設定 | サーバ | 割付 | イベント | バージョン

サーバ名称	サーバタイプ	ユーザID	接続方法	サーバアドレス
D-1	PDVR200_U	Admin	LAN	192.168.1.2
D-2	PDVR200_U	Admin	LAN	192.168.1.3
D-3	PDVR200_U	Admin	LAN	192.168.1.4

サーバ名称: PDVR200_U ユーザID: Admin 接続方法: LAN IPアドレス: 192.168.1.4 通信ポート: 8000

パスワード: **** 入力

削除

OK Cancel

接続するデジタルレコーダーを登録します。

①サーバ名称

任意の名前を入力。カメラ映像左下に表示されます。

②サーバタイプ

TRD-9216(9016): PDVR200_U

TRD-9208(9008): PDVR200_G

TRD-8004 : C200

その他の機種についてはお問合せください。

③ユーザ ID

通常「Admin」ですが、デジタルレコーダーに設定してある ID を入力します。大文字小文字を識別します。

④パスワード

パスワードを入力します。初期 ID:Admin に対する初期設定パスワードは「333」です。

⑤接続方法

接続方法を設定します。LAN または PTSN です。

⑥IP アドレス

デジタルレコーダーに割り当てた IP アドレスを入力します。

⑦通信ポート

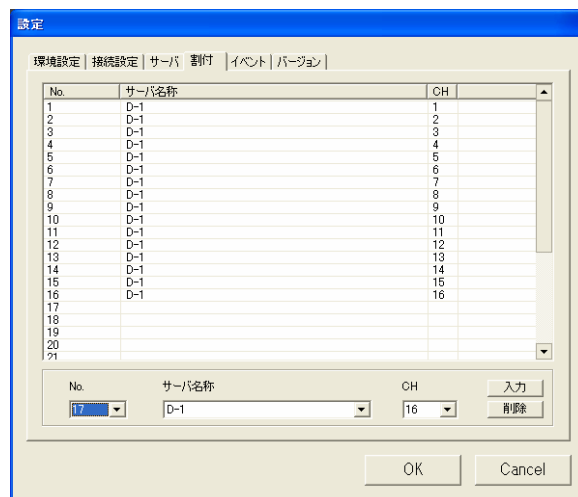
デジタルレコーダー側の変更をしてない場合は初期設定のままにしてください。(6800 - 6802)

⑧以上を入力後、「入力」ボタンをクリックすると、リストに登録されます。

⑨「OK」ボタンをクリックします。

※この設定だけでは、カメラ映像はまだ表示されません。次に割付を行います。

4) 割付



ビューアー画面の各チャンネルに (3) で登録したデジタルレコーダーのカメラ映像を割り付けます。

①No.

Power Net の画面のチャンネル番号です。

②サーバ名称

(3) サーバで登録した名称をドロップダウンリストから選択します。

④CH

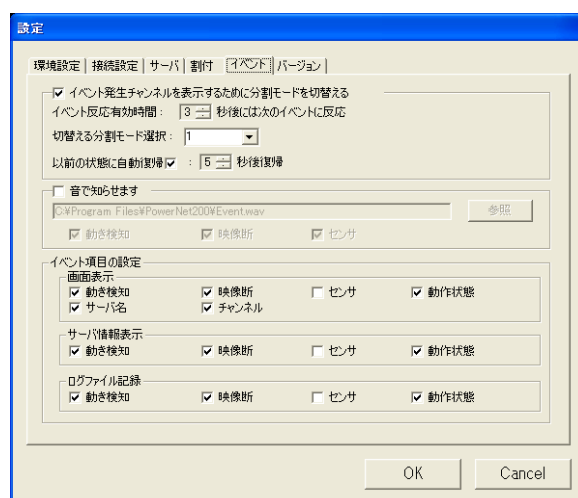
デジタルレコーダーに接続しているカメラのチャンネル番号をドロップダウンリストから選択します。

※1～16CH まであります。

※「EV」CH はイベント待機モードのイベントがあったチャンネルだけ表示します。

5) イベント

動き感知やセンサー検知等、イベントが発生した際の設定をします。



①イベント発生チャンネルを表示するために分割モードを切り替える。

イベント発生時、分割モードを切り替える設定。この設定はデジタルレコーダー本体のイベント設定とは関係ありません。

・イベント反応有効時間 (3～10 秒)

イベントが起こってからこの秒数間は別のイベントに反応しません。

・切り替える分割モード選択

現在モード、1、4、8、16 分割から選択します。

・以前の状態に自動復帰 (5～10 秒)

チェックを入れると、指定した時間後にもとの画面に戻ります。

②音で知らせます

イベント発生時、設定した音を PC で再生します。

③イベント項目設定

・画面表示

画面上に表示する内容を指定します。

・サーバ情報表示

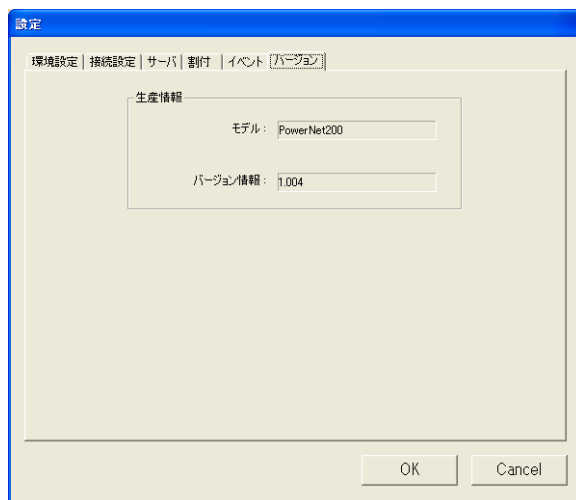
Power Net 画面右側のインジケータにデジタルレコーダーのどの情報を表示するか選択します。

・ログファイル記録

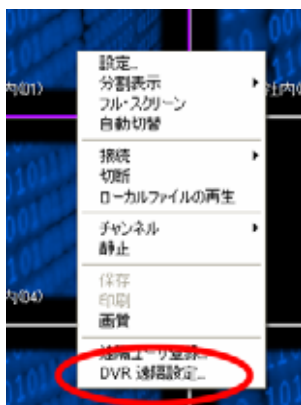
動き感知、映像断、センサー、動作状態などを記録する項目を選択します。

6) バージョン

PowerNet200 のプログラムバージョン情報を表記しています。



7. DVR 遠隔設定



※この操作は、必要がない場合は行わないでください。

デジタルレコーダーに接続している場合、ライブ映像が表示されているチャンネル上で右クリックすると、サブメニューを表示されますので、「DVR 遠隔設定」をクリックします。

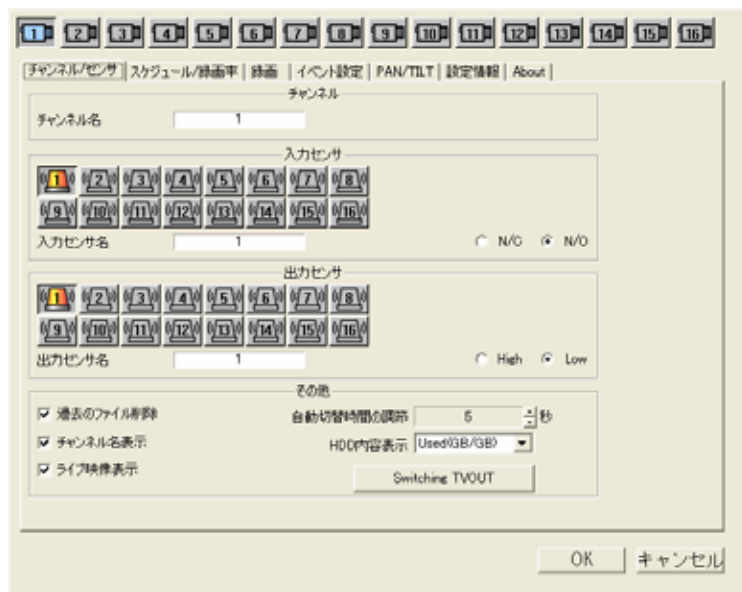
しばらくして、デジタルレコーダー本体側の設定画面 (次頁参照) が表示されます。上部のカメラ番号がついたアイコンで設定するチャンネルを切替えます。設定が終了したら「OK」ボタンを押すことで DVR に設定が反映されます。

注:動き感知およびシステム情報は遠隔設定できません。(設定画面が表示されませんので、DVR 本体で設定してください。TRD-9000 シリーズ ユーザマニュアルを参照してください。)

注:この設定は DVR の設定であり、Power Net の設定ではありません。

注:デジタルレコーダーのバージョンにより本マニュアルに載っている項目がない場合がありますので、ご注意ください。

1) チャンネル/センサー



①チャンネル名

デジタルレコーダー側で表示されるカメラのチャンネル名です。

②入力センサー名

各チャンネル毎に 1～16 のボタンで選択されたセンサーが感知された場合は、予め指定したスケジュールによってシステムが動作します。

センサーにも名前をつけることができます。センサーのタイプは<N/O>と<N/C>の 2 種類から選択します。

③出力センサー (アラーム) 名

各チャンネル毎に 1～16 のボタンで

センサー感知や動き感知があった場合、予め設定したアラームが動作します。

出力センサー (アラーム) にも名前をつけることができます。アラーム出力のタイプは<LOW>と<HIGH>の 2 種類から選択します。

④その他

・過去のファイルを削除

HDに空き容量がなくなった場合、古いファイルから順番に削除しながら新しい映像を記録します。

※チェックが入っていない場合、HDが録画ファイルでいっぱいになると、録画が停止します。

・チャンネル名表示

デジタルレコーダー側で映像にチャンネル名を表示する場合、チェックを入れます。

・ライブ映像表示

デジタルレコーダー側でライブ映像を表示する場合、チェックを入れます。

チェックを入れなければライブ映像は表示せずに、録画のみ行います。

・自動切替時間調節

分割画面の自動切替機能を使う場合、切り替わる間隔 (秒) を設定します。

・HDD 容量表示

HDD 容量の表示方法を選択します。(使用済 HD の割合%・使用済 HD 容量 GB)

・Switching TV OUT

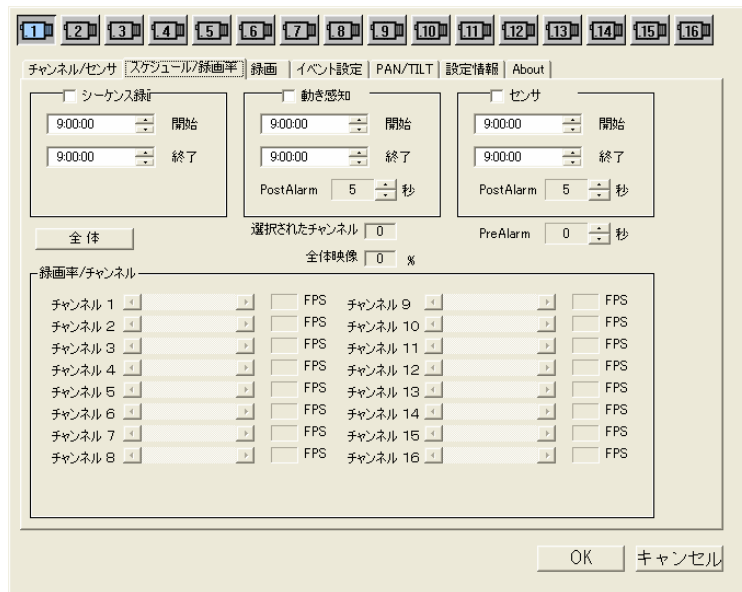
モニター端子に接続したモニター (単画面) の表示方法を変更します。

ON (押し込まれた状態) : 自動切替で表示する

OFF (押されていない状態) : DVR で選択された映像を表示する

※通常は使用しませんのクリックしないでください。

2) スケジュール/録画率



各チャンネルの録画方法、録画時間、録画スピード(フレームレート)などを設定します。

① 録画方法設定

シーケンス録画(連続録画)、動き感知、センサーにチェックが入っている方法で録画をします。

チェックを外すと録画を止めます。

シーケンス録画: 指定した時間に連続録画を行います。

動き感知録画: 指定した時間内に動き感知された時に録画を行います。

センサー録画: 指定した時間内にセン

サー感知があった時に録画を行います。

また、動き感知、センサーのみの設定の場合は Pre Alarm (両方共通)、Post Alarm (各) の設定ができません。シーケンス録画を設定すると値は設定できますが反映されません。

Pre Alarm: イベントが発生時から 0~30 秒遡って録画します。

Post Alarm: イベント終了後の 3~30 秒後まで録画します。

・録画時間設定

開始時間と終了時間を設定します。24 時間録画の場合、開始時間と終了時間は同じ時間を設定。

・録画率/チャンネル

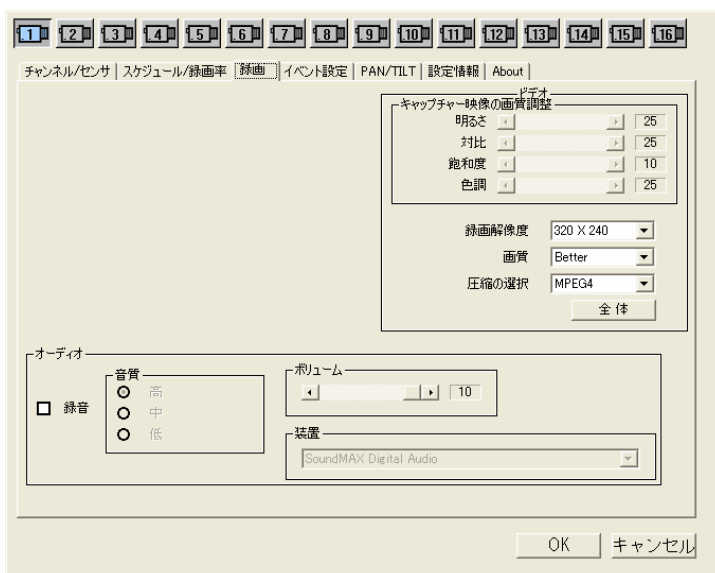
録画スピード(フレームレート)を設定します。単位の FPS は、1 秒間に録画するフレーム数です。スライダーにて設定します。録画の設定が行われていないチャンネルは設定できません。

・「全体」ボタン

現在行っている内容が全チャンネルに反映されます。

3) 録画

① キャプチャー映像の画質調整



映像の明るさ・対比・飽和度・色調を確認できます。設定はできません。

② 録画解像度: 320×240 (初期値) 640×480 が選択できます。

③ 画質: Best/Better (初期値) /Good/Average が選択できます。

④ 圧縮の選択: MPEG4 (デフォルト) /MJPEG が選択できます。

※高解像度・高画質にすると HDD の容量をより消費します。

⑤ 「全体」ボタン

現在行っている内容が全チャンネルに

反映されます。

⑥オーディオ

DVR で音声を録画する際に、録音するチャンネルでチェックボックスにチェックを入れてください。

通常、音声の録音は、CH1 と CH2 のみ対応しています。それ以上の録音を行うには、サウンドボードを追加する必要があります。詳しくは、メーカーにお問合せください。

4) イベント設定

①メールアドレス設定

イベント発生時に、メールで通知する機能です。

サーバー名:SMTP サーバーの名前やアドレスを入力します。

メールアドレス:受信するメールアドレスを入力します。複数のアドレスに送信する際は、「;」半角セミコロンで区切って入力します。

認証設定:SMTP サーバに認証が必要な場合はチェックを入れ、アカウントとパスワードを入力します。

知らせるイベント項目:イベント発生時メールで通知する項目にチェックを入れます。

動き感知/センサー/映像断

②伝送するチャンネル:対象とするチャンネルを上部のカメラアイコンで選択します。

このチャンネルはクライアント接続機能にも使用されます。

③クライアント接続機能

DVR でイベントが発生したときにあらかじめ設定したクライアント PC に自動的に接続させる機能です。

注:この設定は POWERNET200 ではご使用できません。Ver.2.3 以前の POWERNET でのみ設定します。

LAN:IP アドレスネットワークを使用している場合

PSTN:電話回線・ISDN ネットワークを使用している場合

電話番号:PSTN を選択した場合入力します。

自動接続パスワード:DVR の認証過程を自動的に処理するために入力します。入力しない場合は、接続されてから手動でパスワードを入力します。DVR のパスワードを使用します。

通知するイベント項目:メール設定と同様です。

伝送するチャンネル:メール設定と同様です。

④DVR 名:メール通知時、タイトルに表示する DVR 名を入力します。

複数の DVR を使用している場合、DVR 名で区別できます。

5) PAN/TILT

パン/チルトの使用できるカメラをデジタルレコーダーに接続している場合に設定します。

① ドライバ・モデル

スピードドームカメラのパン/チルト操作のためのドライバを選択します。

※DSCPDynacolorVer2.6 を選択。

② アドレス

スピードドームカメラのカメラ ID を入力します。このアドレスが一致しないとカメラの制御ができません。

スピードドームカメラ ID はカメラ本体の DIP スイッチで設定します。

複数のパンチルトカメラを使う時も設定が必要になります。

③ パン・スピード 水平方向の動きのスピードを設定します。

④ チルト・スピード 垂直方向の動きのスピードを設定します。

⑤ 停止時間 オートパン使用時の停止時間を設定します。

⑥ ズーム/フォーカス ズームとフォーカスのスピードを設定します。

⑦ ポート RS232-RS485 シグナルコンバータを接続したポートを指定します。

6) 設定情報

各設定情報の確認、保存、ロードができます。

チャンネル	名前	フレーム	明るさ	対比	飽和度	色調	入力	出力
1	1	0 Fps	25	25	10	25	1	1
2	2	0 Fps	25	25	10	25	2	2
3	3	0 Fps	25	25	10	25	3	3
4	4	0 Fps	25	25	10	25	4	4
5	5	0 Fps	25	25	10	25	5	5
6	6	0 Fps	25	25	10	25	6	6
7	7	0 Fps	25	25	10	25	7	7
8	8	0 Fps	25	25	10	25	8	8
9	9	0 Fps	25	25	10	25	9	9
10	10	0 Fps	25	25	10	25	10	10
11	11	0 Fps	25	25	10	25	11	11
12	12	0 Fps	25	25	10	25	12	12
13	13	0 Fps	25	25	10	25	13	13
14	14	0 Fps	25	25	10	25	14	14

① 印刷: PC に接続されたプリンターで表示されている設定内容を印刷します。

② セーブ: 設定内容を ini ファイル形式で保存します。

③ ロード: 設定情報ファイルをロードします。

7) About

製品情報やメーカーの住所、連絡先などを表示します。



以上

お問合せ先

株式会社スリーディー
画像通信システム事業部
 〒154-0004
 東京都世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー6F
 TEL. 03-5779-6931 (代)
 FAX. 03-5779-6930
<http://www.3d-inc.co.jp/>
 E-mail: info@3d-inc.co.jp